

## 第47回スポーツ少年団全国大会京都市ブロック予選大会 特別規則・注意事項

- ベンチには、登録選手(20名以内)・代表者・監督・コーチ2名・スコアラー・救護員2名の計25名以内とし、全員自チームの帽子を着用する事。
- 監督(30)・コーチ(28・29)2名は、必ず選手と同一意匠のユニフォームを着用する。  
【着用しなければベンチには入れません。】
- 連合チームで参加をする場合は単独で3年生～6年生で10名以上いるチーム同士の連合は認めない。
- 試合開始予定時刻になっても球場に到着していない場合は、原則として棄権とする。(30分前には集合して下さい。)
- 試合は、6回(但し、1時間20分以降は新しいイニングには入らない)とし、6回を終了して勝敗が決しない場合は特別ルール(継続打順で1アウト満塁)にて延長を2回とし、なおかつ同点場合は、最終メンバーによる抽選にて決定する。  
【但し、決勝戦のみ時間制限なしですが、コールドゲームは採用します。】
- 3回15点以上、4回10点以上、5回7点以上の差がある場合は、コールドゲームを採用する。
- 暗黒・降雨・雷により試合が中断・中止した場合で、4回を終了しておれば試合終了成立として終了する。  
【但し、それ以外の場合はノーゲームとして後日再試合とする。】
- 雷の発生しそうな状態になった場合は、状況を判断し試合を中断させ、選手を安全な場所【こども体育館】に避難させ、气象台等の状況を把握し、その後の処置を行う。【中断は審判員でなく本部の指示に従います。】
- 投手は1日の投球数を最大70球とする(4年生以下の場合は最大60球とする。)  
【投球数をカウントする担当をそれぞれのチームより1名ずつお願いします。】
- デットボール・ボークは採用する。
- 打者・走者・ベースコーチは、必ずヘルメットを着用する。
- 捕手は必ず捕手用のヘルメット・レガース・プロテクター・マスク・ファウルカップを着用する。
- タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
- 抗議出来るのは、監督・主将・当該プレーヤーのみで、監督の場合はルールの適用の過ちと思われる時に限る。
- どんな時でも、相手チームや審判員に対し、ヤジ・悪口暴言を吐く事を禁じます。【チームが一切の責任を負うこと。】  
【応援団については、各チームで責任を持って行動してもらう事。(代表者・監督の責任の下で)】  
自チームの選手についても聞き苦しい暴言を吐く事は慎んで下さい。  
グラウンド内での暴力行為については、いかなる理由があろうとも直ちに退場処分とします。【大会期間中のベンチ入りを禁じる。】

- メンバー表に登録選手の記入漏れをした場合、その選手は当該の試合には出場する事は出来ません。
- 変化球の投球は一切禁止する。
- 試合予定は、京都市スポーツ少年団のホームページに記載しますので確認して下さい。

【トーナメント表(日程記載分)をアップしますので必ず確認して下さい。(変更の場合がありますので)】

- 塁審は、指示された試合の塁審を担当する。

【審判服については、試合予定に記載してありますので確認願います。】

- 各チームの横断幕は、フェンスの外側に張って下さい。

- 特別グラウンドルールを適用します。

(1) 外野のフェンスとグラウンドの隙間を抜けた場合や反対面(フェアライン内の他のチームのベンチ)に入った場合は、

テイクスリーとする。【この場合、対面の球審に確認を得る事もあります。】

(2) 外野のフェアライン内に落ちたボールが、ファールラインを越えベンチに入った場合は、テイクツーとする。

- 大会会場内には練習場がありませんので、会場周辺でのキャッチボール・素振りは禁止致します。

但し、バッテリーのみD面が使用されていない時に限り、ピッチング練習のみ認めます。

【指導者がついた場合に限り、D面の1・3塁側ファールライン外のみ使用を認める。】

- 駐車場は、こども体育館前に駐車場を用意していますので、入口にて3台分の駐車証を配布しますので、フロントガラスの見える所につけておいて下さい。

【塁審として来られる方についてもこれに含むと共に、選手の道路周辺での車の乗降は禁止致します。】

- グラウンド周辺は駐車禁止区域ですので、公共の交通機関を御利用の上、お越し下さい。

- 駐車場以外での乗降は決して行わないで下さい。

【決められたルールを破ったり、駐車場当番の注意を聞かないチームは、以降1年間宝ヶ池グラウンドへの車での出入りを禁止する。】

- 宝ヶ池少年スポーツ広場は公園含め全面禁煙です。

- 天候不順の場合の決定は、午前7時とします。【本部 ☎075-701-6248】

- 大会使用球は、ナガセケンコーJ号球を使用する。

- 2024年公認野球規則を適用します。

- 審判員に対しての各チームからのお茶出しは不要です。